



花火・火遊びによる火災防止

花火で遊ぶ時の注意点

▽説明をよく読みましょう。

花火は各種検査を受け、安全と認定されたものだけに付くSFマーク貼付の花火を購入し、使用方法や注意事項をよく読みましょう。

▽大人と一緒に遊びましょう。

子どもたちだけで隠れて花火で遊び、事故を起こした例が少なくありません。大人が参加し、花火の正しい遊び方を指導してください。

▽水バケツを用意しましょう。

終わった花火は水バケツにつけましょう。火災の危険を防ぐだけでなく、燃えカスなどで庭や道路を汚さずにすみます。

▽ご近所の迷惑にならないようにしましょう。

住宅街で花火をするのは、ご近所トラブルの原因にもつながります。人の迷惑にならない時間と場所を選んで遊びましょう。

火傷・熱傷をしたら

やけどは、熱いお湯や油が体にかかったり、炎やヤカンなどに触れたりすると起こります。あまり熱くない湯たんぽなどでも、体の同じ場所に長時間あたっていると低温熱傷になることがあります。

応急手当の方法

▽できるだけ早く、水道水などの清潔な流水で患部の汚れを落とすとともに十分に冷やし、衣類を着ている場合は、無理に服を脱がせようとせず衣類ごと冷やしてください。

▽氷やアイスパックを使って長時間冷やすと、冷えすぎてしまい、悪化することがあるので注意しましょう。

▽火事などで煙を吸ったときは、やけどだけではなく肺が傷ついている可能性があるため、救急車で医療機関にいきましょう。

▽やけどが大きい場合は、すぐに119番通報をしましょう。

—親子救命講習会—

日時 8月19日(土)

午後1時30分から4時30分

場所 丹羽消防扶桑出張所

申込みおよび問合せ先

丹羽消防署本署 ☎95-5151

大口出張所 ☎95-0119

現在も大口町役場より東日本大震災復興支援のため宮城県南三陸町へ職員が派遣されています。

南三陸町派遣職員レポート

不定期でお送りしています南三陸町復興レポート、現在のま

ちの様子についてお伝えします。

東日本大震災の発生から6年目を迎え、沿岸部では盛り土工事や国道の改修工事が現在も大規模におこなわれています。

その一方で、町営の復興住宅建設や高台移転による分譲住宅建設などの住環境の整備は進み、現在は大型スーパー、ドラッグストア、ホームセンターなどが併設された大型ショッピングセンターの建設もおこなわれ、壊滅的な打撃を受けたまちに新たな市街地が形成されつつあると



▲南三陸町の海の幸をふんだんに使った海鮮丼

ころです。

こうした状況の中、この復興レポートの中でも度々登場した仮設の商店街も、今年の3月に志津川地区の「南三陸さんさん商店街」4月に歌津地区の伊里前福幸商店街が名称を新たに「ハマーレ歌津」としてオープンしました。この二つの新しい商店街は世界的建築家の隈研吾氏が設計を手掛け、南三陸町産の杉をふんだんに使用した木のぬくもりを感じる商店街となっており、週末には多くの観光客や地元住民の方々が賑わっています。

これらの商店街には仮設の頃から出店している店舗の他に、今回新たに加わった店舗もあり、まちの活性化に向けてさらなる発展が期待されます。



▲ハマーレ歌津



▲さんさん商店街